

上田城南地域協議会会議録

日時 平成 18年 11月 13日（月）午前 10時から午前 11時 55分

場所 上田市城南公民館 2階大ホール

出席委員 石井委員、石黒委員、石坂委員、井出委員、岡部委員、掛川委員、木内委員、酒井委員、竹内順一委員、竹田委員、田中明委員、田中千寿子委員、中島委員、中村委員、西川朋子委員、西川善和委員、増田委員、丸山委員、宮崎委員

市側出席者 原沢自治振興課長、小宮山自治振興課課長補佐、柳沢主査

1 開会（原沢自治振興課長）

2 あいさつ（田中明会長）

本日は、今後予定されております総合計画の諮問を視野に、総合計画の概要を知っていただくための勉強会も兼ねて開催させていただいたところである。この地域の課題等につままして、自由な意見交換をお願いしたい。

3 会議事項

（1）新市建設計画（合併協議会策定）の概要について

（田中会長）

それでは、新市建設計画の概要について事務局から説明をお願いいたします。

- 「新生上田市建設計画」について事務局（原沢自治振興課長）から説明 -

（田中会長）

ただいまの説明で、12月中には市長から総合計画の諮問があり、2月の下旬には答申を出していくことになるとのことである。

城南地域においては、城南公民館の移設というような懸案事項もある。また国道143号に係わる地域の皆様の思いもある。J Tの跡地利用も議論の中にあるが、城南地域にとっても無関係ではない。ゴミ最終処分場の移設先についても、議論が進んできているところである。そのこともこの地域にとっては無関係ではなく、無関心でもいられない。

そのようなことを念頭におきながら、皆さんに議論をお願いしたい。

事務局の説明の中で、質問、ご意見等がありましたらお願いします。

(委員)

現在市内に9つの地域協議会があるが、その中でこの城南地域は、一番漠然としており、売りものがないという状況である。塩田なら神社、仏閣があり、大いに観光に役立っている。真田には菅平、武石には美ヶ原高原があるが、城南地域は、そういった目玉になるようなものがないという気がする。

例えば、来年大河ドラマ風林火山が予定されているが、この中で上田原の合戦が出てくる。2月頃放送されることになるかと思うが、同時に砥石米山城の砥石崩れというような歴史的なものが出てくる。上田原合戦をテレビで見る方に早めにアピールして、多くの人々が城南地域においでいただくような方法を考えていただけたらどうかと思う。

県道三好町線の拡幅については、城下自治連からもお願いしているが、県の土木部にも青写真が届いている。関係方面へお願いもしてある。城南地域へ足を運んでいただくには、やはり三好町線の拡幅が必要になってくるのではないかと考える。

J T跡地には、何ができるかわからないが、諸々の公共機関、イト - ヨ - カ堂等が建設されるということになれば、当然三好町の交通量が増加し、現在の幅では狭いということになってくる。

まず城南地域を知っていただくことを進めていただきたい。

(原沢自治振興課長)

次回市から総合計画の諮問をさせていただくが、その方法として、事務局で諮問の案を考え、それをお示し議論いただくことになる。全く白紙の状態でも議論いただく方法も当然あるが、事務局案(たたき台)をお示し、ご議論いただいた上で、答申をいただく予定でありますので、今のご意見につきましては、たたき台を作る際の参考にさせていただきたい。

(田中会長)

協議会は、対象地区に係わる事項について、自ら意見を述べるということであり、ただいまのご意見は、その部分であるかと思えます。そのために調査研究するという大事な部分がある。地域協議会とすれば、分科会的にすべて検討していくというわけにもいかないの、この地域に該当する問題をどうするかということになるかと思うが、どのように調査研究をして協議会としての意見を上げていくか、というそのプロセスを十分協議して決めるべきではないかと思う。

(委員)

新市建設計画の策定にあたって、それがどういう過程で導かれてきたのか、当初話し合いのルールはどう決定されたかということが原点にあると思う。事務局の説明の中では、多分それをフロー的に表現されていたのではないかと。例えば地域の課題について議論してもらおうとかいろいろとあると思うが、それをどう整備していくのかという中で、テーマが見出されて、テーマの中から基本的な考え方が見出され、

基本的な考え方まで見出されたら、ソフトハード両面による考え方が入ってきて、そして施策の基本方針が決まる、基本方針が決まったら、具体的施策について提示していく。その提示によって、具体的施策の方向性と整備の内容について検討するために、この協議会があるというようなことでこの資料ができていくと思う。

今日の事務局の説明で、ご理解いただける方ともう少し読んでみたいという方もいらっしゃると思うので、話し合いの方法等をどのようにしていくのかの検討をまず進めたい。先程、三好町、観光面のPR、大河ドラマ等々の話が出た。具体的な計画と検討すべき点はいったいどこにあるのかということを知らなければならないという数の問題、例えば皆に知ってもらいたいというのが当たり前のことだが、その前に自分たちが知ることが大切だということになった場合、どの程度知っているのかという話になってくる。最初にどういう方法で進めていくのか。例えば地域にこんなものがある、あんなものがある、そして課題とすればこんなものがある、あんなものがある、その中でその課題を絞った場合、希望なりが出てきて、その中からテーマを導いていくというように進めていくのか。それとも市から具体的な案を提示していただいて、それについていいだろう、悪いだろうというような形でいくのか、どちらかに決めおかないとこの協議会がばらばらになってしまう。先月の協議会で申し上げたようにそうなってしまったら、次の提案にはいかないと思うし、提案されたことを検討する場を見失ってしまうと思うので、具体的な計画の検討に入る前に、例えばこの資料がどういう方法で導かれて、われわれも同じ方法で回答していきたいというような方向性でいいので、決めたほうが良いのではないかと。多分この資料を作った合併協議会も同じことを当初議論されたのではないかと。

(田中会長)

事務局から説明のあった内容の理解が大事だろうと思います。この地域が今後どのように取り組んでいくのか方針を決めるにあたって、月1回の協議会の開催では困難な面がある。先程これというようなものがない地域だというご意見があったが、反面非常に無関係ではないという地域でもあると思う。9つ地域協議会があるが、いずれもどういうものが出てくるかはわからない。けれどもこの地域が抱えている将来の夢もあれば不安もある。われわれの地域のあり方について、そういうものを掘り下げて議論していくにあたり、どのように取り組んでいくべきなのかについて、皆さんのご意見をいただきたいと思います。

(委員)

次回市からたたき台が出てくるとのことである。それに対して全体討議で進めるのではなくて、やはり専門的に進めていく。その回数については、その専門委員の方々に一任し、徹底的に議論すればいいと思う。先程観光面と公民館の改修等の問題が出たが、上田原合戦をテーマにした城南地域のPR、公民館の問題、この地域を活性化させるにはどうしたらいいかといった3つくらいの柱が最低でもほしいと

思う。どんな答申になるかはわからないが、そういうことで、そのポジションについて委員は、会議の開催回数に関係なく、2月末までに答申できる状態にしていったらどうかと思う。

(田中会長)

ただいまのご意見は、分科会的に進めたらどうだろうということでもあります。その中で、月に数回開催することになると思うが、2月の答申までに間に合うように十分な議論を進めてもらいたいというのが、ご意見の趣旨であります。

ほかにご意見ありますか。

(委員)

そのポジションをどう決めるかという決め方とその度合いを今話し合っていたきたいという中で、どこまで掘り下げていくかということである。ただいまの意見は、ここにテーマを絞りたいということだと思う。専門委員の中で、テーマを絞っていくということによろしいか。

(委員)

専門委員の中で絞るのではなくて、市からの諮問に基づき、観光面、公民館の問題、道路、陸橋等の問題等この地域の課題を含め、城南地域全体を検討してもらうのがいいと思う。

(委員)

先程の事務局の説明の中で、諮問される内容は、資料の50ページの部分が主になるということによいか。

(原沢自治振興課長)

50ページに旧上田市の部分が掲載されているが、総合計画はこの建設計画をベースに策定していく。旧上田市を1つのエリアとして整備方針を記載しているが、地域別計画を検討するにあたり、この地域に関わる部分についてはそれが入ってくるし、新たに項目を挙げていただき、盛り込んでいただいても結構である。

(委員)

次回の協議会で市からたたき台が示されるということであれば、われわれとしては、これも付け加えてもいいのではないかとというのが次回の会議である。

今困っていること、将来についてのこと等いろんな分野について意見が出るから、すべてそこで出せばいい。そうすれば、10年後、20年後のさまざまな問題の中から、2、3ピックアップして、それについて先程意見が出たように延々全員で話し合うことはできないので、いくつかに分けて議論していくという方針、方向性が出ていれば、あとは次回出てきた内容をたたき台にこれを削ってこれを付け加えましょうというように意見を出して、それをフレーズして皆さんで分けていったらどうかといった方向性だけが出ていけばいい。

(田中会長)

諮問の内容が示された時に、それぞれの項目について分担し合うような形で、深く検討していくということ、それに対して諮問の中には、この地域の問題として網羅されていない部分もあるかもしれない、そういうものはそこへ載せていってもいいのではないかとということであります。ほかにご意見ございますか。

(委員)

今の話は、資料の50ページの整備方針からについての諮問を受けるということでしょうか。そういうことであれば、ワーキンググループのようなものを作って進めるということだと思う。20名いるので、いくつかのワーキンググループにして進めていけばいいということだと思う。諮問の項目は、50ページに記載のある5つの項目プラスアルファでやるのかどうか確認したい。

(原沢自治振興課長)

建設計画がベースになります。この地域に関する事で、この計画にないものもあるかと思しますので、そういったものも加えてたたき台を作らせていただきます。

50ページの部分は、旧上田市全体を見る中で特徴的なものを抜き出したものです。旧市内に6つの協議会を設置しましたので、それぞれの地域ごとに特色のある内容を盛り込んでいくこととなります。

なお、地域別計画については、地域協議会の答申をいただくわけですが、総合計画全体については、総合計画審議会で議論されており、答申をいただくことになっている。地域別計画と総合計画(全体)との調整が必要になってくる場合があるので、あらかじめ御承知おき願いたい。地域協議会の答申と総合計画審議会の答申が全く別の方向を向いているという場合に調整が必要となる。

(委員)

市から諮問される計画は、あくまで市の案である。地域としての意見をどのようにして反映させていくかということを考えなければならない。なぜネックになっている問題がそこにあるのか理解されていない市の行政面があったとすれば、当然地域を理解してもらっていないゆえに、どうしたらうまく進んでいくのかについて計画の立案段階で考えていただかなければならない。同時に、この地域はネックになる問題が多いと思うが、まずは表へ出してなぜネックになるのか、皆で理解すると同時に行政の執行者にも理解していただく必要があるかと思う。

(原沢自治振興課長)

たたき台をお示し、議論を進めていただく中で、地域の要望等組み込めるものは組み込んでいただくことになる。

(委員)

市の出してきた方向性に対して、協議会で全く反対の意見が出たとしたら、地域として歩み寄りも必要かもしれない。しかし、話を伺っていると、市の基本的な考え方がトップダウンで進めようとしているのではないかと、それに対して地域協議

会は、何らかの意見を出すことで、地域住民にわれわれが市の行政の考え方を理解したという一方的なものの考え方に走って行ってしまわないかという心配があったので申し上げたところである。

(原沢自治振興課長)

市としては白紙で諮問してもいいわけですが、議論に入っていただくにも大変な面もありますので、諮問案をたたき台として出させていただき、それは押し付けでなく、あくまでたたき台として検討していただくものである。この地域をこのようにしますというものではないので、ご理解願いたい。

(委員)

地域協議会の上に60人の委員さんがいてそこで全体の調整がされるという説明があったが、その中には城南地区の正副会長が入っているかお聞きしたい。

(原沢自治振興課長)

各地域協議会から1名ずつ推薦をいただき、総合計画審議会の委員を努めていただいている。総合計画審議会は、分野別に部会に分かれて審議を行っており、全体会で調整が図られていく。例えば、協議会から地域別計画の答申の中に、観光面について触れられているという場合、総合計画審議会で観光を専門に審議している部会と調整を図ることになる。

(委員)

地域協議会の上に、総合計画審議会があるということか。

(原沢自治振興課長)

総合計画は、60名の委員からなる総合計画審議会(部会、全体会)で審議される。総合計画の中に地域別のまちづくりに関する方針を組み込む予定であるが、各地域協議会へはその地域別の計画部分を諮問させていただく。総合計画審議会の計画案と整合性を図るため、調整が必要となる場合がある。

協議会の上にあるということではなく、総合計画の地域別の計画については、地域協議会で検討いただくということである。

(委員)

城南地域を一番よく知っているのは、この地域協議会の委員の皆さんである。城南地域の地域づくり方針について、白紙の状態から議論していければベターだと思う。市から諮問される内容は、どこでどのようにして作られ出されるのか知りたい。2月までに答申ということは、大変厳しい日程だと思う。

私どもの任期は2年だが、2年間にいろいろのことについて議論し合って、最終的に協議会としての結論をまとめあげて、答申していくことになるか、今後の計画について伺いたい。

(委員)

地域協議会は、自治会活動とは違う。自治会活動は、下から吸い上げていく。市

としては、地域協議会を円滑に進めていくために、たたき台を出す、この協議会で討議して、それを破棄する権利ある。新しいものを出す権利もある。こういうものを議論したいということで検討し、総合計画審議会との調和さえとれていれば、問題ないということでしょうか。

(原沢自治振興課長)

協議会の任務の中に、市から諮問させていただき検討いただく場合、市としてはこんな形で進めたいがどうかといったように地域の意見をお聞きする場合、その他に地域協議会には自ら意見を述べるという特徴的な部分があります。まちづくりについて調査研究を行う。大きく分けてそのような形に分けられる。

総合計画は市から諮問をさせていただき形となります。それに対して、ご意見をいただいて、答申をいただく。その他にこの地域の課題を自主的に話し合い市へ提言をいただくことも可能である。当面は、総合計画の策定が来年の9月までに予定されているため、まず地域協議会へお願いさせていただいた。2月ころまでに答申いただきたいということである。

それ以降については、地域として課題を解決するために話し合ったほうがいいのではないかとこの場合は、協議会を開催し、市へ提言等していただくことも可能である。

以上が今後の活動の予定である。

(田中会長)

12月に総合計画策定のための諮問が出る。それについては2月までに答申をしていくという作業を、協議会が行う。今後この地域が、どうする、こうする、将来の展望どうする、こうするといった議論は、総合計画の検討とは別に、われわれの任期の中で、十分継続していくものである。

(委員)

総合計画の審議会で、60名の委員がそれぞれの部会に分かれて検討されるということであるが、市議会で議決された後であれば、われわれが各部会に対し質問することはできるのか。

(原沢自治振興課長)

総合計画策定の進捗状況を聞きたいということであれば、各部会に事務局があるので、協議会として聞きたいということであれば、この協議会の場に職員が出席させていただき、進捗状況を説明させていただく。

(委員)

市では、福祉関係について箱モノはつくらないという話だが、実情を見ると老健はいいが、特養関係については、どの施設も200人、300人待ちが当たり前の状態である。

(原沢自治振興課長)

総合計画については、地域別の市民広聴会が終了し、現在分野別の広聴会を開催しているところである。健康福祉の関係は先日開催されたが、そういう市民の皆さんが、地域別に意見を言える場も設定してあるし、分野ごとに意見を聞く懇談会も始まっている。

(委員)

総合計画審議会の福祉健康部会に委員として、出席させていただいている。地域協議会の方の意見を私がお聞きし、部会の場で発言することはできると思う。

(委員)

私は、総合計画審議会の都市交通部会に出席しているが、10人で構成されている。一般の傍聴は可能だが、個人で行って発言ができるしくみにはなっていない。地域協議会の皆さん方の声をお聞きして、各部会の委員が発言していくシステムとなっていると思うがどうか。

(委員)

次回の部会の会議資料がすでに送られてきており、近日中に会議が開催される予定となっている。次回の部会で、城南地域について資料の中で触れられていない部分で、こういうところが足りないと思っている方々が私の後ろにはいる、というような意見を部会で発言することは可能である。そのことについて、その後具体的に決まってきたかどうかということまではいえないが、部会がそういった意見を述べるという場ではあると思う。

(委員)

市から諮問される内容が現時点で示されているわけではないので、方法論については、諮問された内容を確認してから、協議会として判断してもいいのではないかと。

(原沢自治振興課長)

次回の会議は、こういう内容で諮問させていただきますということで、事前に各委員さんへ内容をお送りし、会議の際はすぐ議論に入っていけるよう進めたいと思っている。

(委員)

いろんな形で諮問されると思うが、項目だけを挙げて討議してくれ式では、なかなかいい意見が出てこない。過去において市のやってきたことも具体的に入れてもらい、失敗例も成功例も含めてわかりやすい諮問内容としていただきたい。

(原沢自治振興課長)

地域に関する基礎的なデータにつきましては、事前に郵送でお送りしたいと思っている。

(2) その他

(原沢自治振興課長)

次回の会議日程であります。総合計画の諮問が予定されておりますが、諮問の日程が決まっておりませんので、正副会長さんと相談させていただき、できるだけ早く日程をお知らせしたいと考えておりますのでよろしくお願いしたい。

(委員)

事務局にお願いですが、次回の会議の際に、検討する場合に漠然としている場合が多いので、城南地域の地図を用意していただきたい。

(原沢自治振興課長)

次回の会議の際に、資料として用意させていただく。

(田中会長)

以上で本日の会議を閉会とします。